

メッセージアウトライン 「神の作品」 エペソ 2 : 1 ~ 10 2017年1月29日 (日)

聖書箇所 : エペソ 2 : 1 ~ 10

タイトル : 「神の作品」

テーマ : 神の恵みのゆえに信仰によって救われた者(すなわちクリスチャン)を、パウロは「神の作品」だと言っている。私たちに「神の作品」としての自覚があるだろうか。「恵み」と「信仰」と「救い」をキーワードとして、「神の作品」の意味を考えてみる。

1. 「あなたがた」(エペソの人々、異邦人)と「私たち」(パウロをはじめとするユダヤ人)は、どんな状況にあったか。
2. イエス・キリストによって両者に与えられた救い
3. 「救い」は何によってもたらされたか
 - ① 神の側——恵み
 - ② 人間の側——信仰
4. 誤解してはいけないこと
 - ① 救いは行いによらない
 - ② 行いによらない理由
5. 「私たちは神の作品であって」(2 : 10)
 - ① 作品の製作者
 - ② 作品が作られる目的
 - ③ 良い行ないとは?
 - ④ まだ完成していない作品
 - ⑤ 再創造
 - ⑥ 「作品」の完成と「救い」の関係
6. 結論
 - ① 神の作品と呼ばれる私たちクリスチャンは、どうすれば神の作品となれるのか
 - ② 神の作品の最終的完成とクリスチャンの希望